

無電柱化事業

アナ： 「市長が語る2023三島」第25回の今日は、「無電柱化事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 早速ですが、無電柱化事業というのはどのような事業なのでしょうか。

市長： 無電柱化事業は、電線類を地中に埋設するなどの方法で、道路の電柱をなくしていく取り組みです。

この事業を進めることで、地震などの災害時に電柱が倒れて緊急車両等の通行の妨げになることを未然に防止することや、十分な歩行空間を確保し、歩行者や車いすの通行を円滑にすることのほか、良好な景観形成、さらには観光振興につなげていくことが可能となってまいります。

なお、景観形成に関しましては、三島市が進めるガーデンシティの取り組みにも寄与するものと考えております。

アナ： 確かに、本町の大通りや芝町通りなどでは電柱や電線がなくなり、街並みが大きく変わりましたね。

三島市では、現在、どの道路で無電柱化が進められているのでしょうか。

市長： 市内では現在、4箇所が無電柱化が進んでおります。

三島駅南口東街区再開発事業区域の沿線市道と

三島商工会議所西側に位置する愛染院跡の沿線市道の一部を三島市が実施し、三島駅南口の駅前交差点から市民文化会館までの県道と三嶋大社西側の県道の一部を静岡県に実施していただいております。

また、新たに、国道1号と国道136号の交差点北側から「市役所南」交差点までの区間の県道につきましても、静岡県に事業化に向けて準備をしていただいているところです。

アナ： それぞれの事業はどのくらい進んでいるのでしょうか。

市長： 実施中の4箇所につきましては、道路沿線の建物の調査やアーケードの撤去、水道管やガス管、電柱などの移設を進めているところでございます。

今年度中にそれらの移設が完了することを目指して進めておりますので、令和6年度から電線共同溝の本体工事に入れるのではないかと見込んでおります。

なお、新たに県に事業化の準備をしていただいている箇所につきましては、詳細設計を行っているところであると聞いております。

アナ： 順調に進んでいるようですね。

今お伺いしたところでは、三島駅南口周辺に事業箇所が多いようですね。

市長： はい。三島駅南口周辺につきましては、交通量が多いため、無電柱化事業の

進捗に伴い、広範囲にわたり交通の混雑やバスの遅延等が生じることを心配しております。

そのため、そのような状況をできる限り軽減できるような通行の方法等について、関係機関を交え、検討や協議を慎重に重ねているところでございます。

アナ： なるほど。仮に通行方法の変更を行う場合、その内容や期間について、お伺いすることはできますでしょうか。

市長： 変更する場合、その期間は、三島市が実施する無電柱化事業が完成するまでのおよそ3年間から4年間になるのではないかと見込んでおります。

長期間の変更となりますので、駅を利用される市外の方々を含め、混乱が生じないように、時間をかけて、できる限り丁寧な周知に務めてまいります。現時点では詳細が固まっておらず、関係機関との協議も整っておりませんので、決まりましたら、ご案内をさせていただきたいと存じます。

アナ： 工事が完成すると、三島駅南口前に電線のない開放的な景観が広がるのですね。とても楽しみです。

通行方法を変更する際には、しっかりとご案内をしていただけるということですので、安全・安心に、そして順調に無電柱化工事が完成することをお祈りしております。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。